

令和6年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3

No.1 2 8 森田東保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を見通した全体的な計画及び指導計画を作成し、実践する。	(1) ○	
		(2) 園評価や年度末に保護者アンケートを実施し、保護者の声に耳を傾け改善できるように努める。	(2) ○	行事ごとにアンケートをとったり園評価を行ったりして保護者の意向を汲み、改善できるよう検討した。
		(3) 保育カウンセラーとの連携による育ちの支援シートを作成し、発達に遅れがある子や気になる子の理解を深め、ケース会議で関わりを検討し実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーからの助言を職員間で共有し、日々の保育の中で実践していった。
		(4) 「安全の心得」の共通理解をする。食物アレルギー児の対応はマニュアルを基に終礼時には必ず職員で確認する。	(4) ◎	アレルギー児の対応のみならず、給食に関する情報が入ったら職員間で共有するようにした。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 園内研修を通して子どもの育ちや遊びの中の学びについて職員間で共有し、保育の質の向上に努める。	(5) ◎	園内研修をすることで自然に異年齢児の交流につながり、保育に対する語り合いが深まった。
		(6) 園長研修会等で知り得た知識や情報を伝達し、周知徹底、共通理解を図る。	(6) ◎	口頭と回覧で周知した。全員が参加できるように会計年度の保育士と分けて報告会を行うようにした。
		(7) 研修開催の情報収集と研修計画を作成し、積極的に研修に取り組める環境作りをする。	(7) ○	研修の情報を回覧したり、該当する職員には個別に声をかけたりしていった。
Ⅱ 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や保育士体験等を実施し、保護者への育児相談の充実を図る。	(8) ◎	計画された以外にも、子どもの様子や保護者の要望に応じて懇談を行い、保護者の思いに耳を傾けた。
		(9) 感染症の発生状況やその対応に関する情報を保護者に提供し、感染拡大の防止や予防につなげる。	(9) ○	インフルエンザや他の感染症の発症時には、ガイドラインに基づき登園の目安など分かりやすく知らせた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) チラシを掲示し、園開放「あそびにおいで」の開放日の情報を提供する。	(10) ○	絵本や運動遊びの講師を呼んだり、水遊びをしたりなど企画し、子育て支援の場を提供した。
		(11) すみずみ子育てサポート事業のパンフレットや“はぐくむ book”の配布をする。	(11) ○	
		(12) 園開放時など、随時子育て相談に応じ育児不安の解消や軽減につなげる。	(12) ◎	園開放時に親同士が子育てについて話せる時間を毎回作り、語り合う場を設けた。
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターやこども療育センター等の専門機関へ情報提供し連携する。	(13) ◎	関係機関に情報提供したり、園での様子や療育の様子を見学しあったりして連携を図りながら支援をした。
		(14) 主任児童委員と情報交換し連携を図る。	(14) ○	主任児童委員と定期的に情報交換をした。
		(15) 園訪問や小学校との連携会議に参加したり、保育要録を作成、送付したりしてスムーズな接続を行う。	(15) ◎	園訪問を積極的に受け入れたり小学校との接続会議に参加したりしてスムーズな接続に努めた。
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業の把握と情報提供を行う。	(16) ○	ポスターを掲示するなどして情報提供に努めた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の民生児童委員と情報を共有し、地域の子育て環境の実情を把握すると共に必要な支援につなげる。	(17) ○	
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 園だよりやドキュメンテーションなどでこどもの育ちを伝え、子育てへの関心を高めていく。	(18) ◎	配信するだけでなく、登降園時にも個別に口頭で子どもの成長の様子を伝えた。
		(19) 保護者会と園とが協力し、行事などを通して保育園への理解を深めていく。	(19) ◎	保育参加や親子遠足、運動会など行う中で、園の取り組みに理解と協力を得ることができた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 保育体験学習・保育士実習生の積極的な受け入れをする。	(20) ○	中学生の職業体験など、申し出があった場合は積極的に受け入れた。
		(21) 地域の催事に参加したり園にゆかりのある方に絵本の読み聞かせをしてもらったりして、親交を図る。	(21) ○	もりのわフェスタなどに作品を出品したり、絵本の読み聞かせをしてもらったりなど、様々な交流ができた。
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 個人情報保護法を遵守し、守秘義務を負う。	(22) ◎	
		(23) さまざまな研究大会に参加し、意見を聴いたり提示したりする。	(23) ○	研究大会に参加し、得た情報をみんなで共有した。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画を作成し、実施する。	(24) ○	今年度の取り組みを振り返り、来年度に生かせるようにしたい。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。